

兵庫 県
保険医協会

西宮 支部 ニュース

No. 349

2019・8・25

〒662-0832

発行 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部
西宮市甲風園一―一五 法貴皮膚科内
連絡先 兵庫県保険医協会
電話〇七八 (三九三) 一八〇一

第38回支部総会・総会記念市民公開講演会

毎日卵を食べれば優れた栄養価を積極的に摂取しよう

コレステロールの話題や調理法なども紹介

西宮・芦屋支部は7月20日に西宮中央公民館で第38回支部総会、なでしこホールで総会記念市民公開講演会を開催。講演会には医療関係者、市民など90人が参加した。講演会では、「エッグサイティングな卵の研究」の栄養・調理・健康機能」をテーマに、京都女子大学家政学部食物栄養学科教授の八田一(はった はじめ)先生が講師、村上博先生(西宮市・ユニコの森村上こどもクリニック)が司会を務め、法貴憲支部長(西宮市・法貴皮膚科)が謝辞を述べた。



医師・市民ら90人が参加し八田先生の講演に聞き入った

八田先生は、日本人が年間平均330個も食べるという卵について、「完全栄養食品」とも評される栄養価の高さや、「黄身返したまご」「逆温泉たまご」など様々な調理法を紹介。また、これまで「コレステロールが高いのであまり食べない方がいい」とされてきた卵について、「1日に1〜2個のたまごの摂取は血漿コレステロール濃度に影響しない」との研究結果を報告し、「高コレステロール血症の患者等は別として、毎日1〜2個の卵を食べて、その優れた栄養・健康機能をより積極的に摂取した方がいい」と結論付けた。



卵の高い栄養価について解説する八田先生

また、総会議事では加藤隆久先生(西宮市・加藤歯科医院)の議長の下、広川恵一先生(西宮市・広川内科クリニック)から2018年度活動報告と2019年度活動方針案が提案され、全会一致で承認された。また、新年度の支部役員選出が行われ、新たに坂尾将幸先生(西宮市・さかお内科・消化器内科)が世話人と評議員、半田伸夫先生(西宮市・半田医院)が世話人、北垣幸央先生(西宮市・北垣クリニック)と安岡眞奈美先生(西宮市・安岡クリニック)が予備評議員にそれぞれ選出された(新役員一覧は左上欄に記載)。

〈講演会参加者からの感想〉

・卵の身近なことから抗体等に至るまで、幅広いことが知れて大変興味深く聞かせていただきました。コレステロールの働きがよく理解できました。大変勉強になりました。

・初めての参加でしたが卵の応用が健康機能として研究されていることを知りました。あらためて卵の良さを実感しました。今日の講話をお聞きして、これからさらに調理が楽しくなりそうです。

・卵の講演ははじめてでしたが、こんなに栄養のあるもの、健康のために食べたいと思います。大変役に立ちました。ありがとうございました。

【西宮・芦屋支部 新年度役員一覧】

1、支部役員

〈支部長〉
法貴 憲

〈副支部長〉

加藤 隆久、北井 明、林田 英隆、広川 恵一

〈世話人〉

伊賀 幹二、岩下 敬正、上田 進久、川崎 史寛、川野 悦司、北垣 幸央、佐々木 健陽、多田 梢、土山 雅人、林 功、藤森 隆史、前田 信証、三浦 一樹、宮崎 睦雄、宮崎 義彦、村上 博、森 博雄、安岡 眞奈美、坂尾 将幸(新)、半田 伸夫(新)(相談役)
堅田 均、幸原 久、森下 敬司、大森 公一、法西 浩

2、評議員・予備評議員

〈評議員〉

土山雅人、林 功、上田 進久、宮崎 睦雄、坂尾 将幸(新)
(歯科) 小田 泰史、加藤 茂芳、藤森 隆史

〈予備評議員〉

岩下 敬正、川崎 史寛、前田 信証、三浦 一樹、川野 悦司、森 博雄、北垣 幸央(新)、安岡 眞奈美(新)

第8回ファイアサイド・ディスカッション

事実と想像―判断情報は事実ですか？ 思いこみではないですか？

日時 8月31日(土) 午後3時～
会場 西宮市立勤労会館 4階・第7会議室
講師 西宮市・伊賀内科循環器科
院長 伊賀 幹二 先生

※お問い合わせは、協会事務局 TEL. 078-393-1809 岡林まで

第36回漢方研究会 (感想文)

心の治療も内包する漢方の役割を学ぶ

西宮・芦屋支部は6月15日に三宮市・スペースアルファ三宮会議室で「このころと漢方」ベンゾジアゼピンに頼らない医療を目指す」というテーマに第36回漢方研究会を開催。奈良県生駒市・岡クリニック院長の岡留美子先生が講師を務め、医師ら181人が参加した。当日司会を務めた村上博先生(西宮市・ユニコの森 村上こどもクリニック)からの感想文を掲載する。



漢方薬の役割について具体例を示しながら分かりやすい解説がされた

第36回漢方研究会ではこのころと漢方ベンゾジアゼピンに頼らない医療を目指してという題で、奈良で精神科のクリニックを開業されている岡留美子先生にご講演いただきました。

当初の予想を超える多くの参加申込みをいただき、皆さんの関心の高さがうかがわれました。多職種の方にご参加いただき、第2会場を設けるほど人気の高い研究会となりました。

岡先生は、精神科診療において身体の治療も心の治療も分けて考えるのではなく、心の治療を内包する漢方を精神科診療に取り入れておられました。近年、長期連用による依存性が問題となり使用に制限がかけられることになったベンゾジアゼピン系薬物の減量、中止に苦慮することが多い日常臨床において、漢方薬を単に使うというだけでなく、患者さんとの治療関係において生まれる期待が果たす役割が大きいことを症例提示を通じて、具体的処方とともにわかりやすくお話しいただきました。参加された方々の日常診療に多くの示唆を与える会であったと思えました。

英語で診療 Medical English #53 (感想文)

学んだ英会話を実際の診療に活かしたい

西宮・芦屋支部は7月19日に西宮医療会館でMedical English #53を開催。「潰瘍性大腸炎/下痢」をテーマに、Robert Conway氏が講師、半田伸夫先生(西宮市・半田医院)が司会、坂尾将幸先生(西宮市・さかお内科・消化器内科)と中島敏雄先生(西宮市・中島クリニック)がアドバイザー



医師と潰瘍性大腸炎の患者とのやり取りをロールプレイ形式で話しながら学んだ

を務め、医師ら17人が参加した。参加いただいた先生からの感想文を掲載する。

この度は、Medical Englishセミナーに参加させていただきありがとうございました。参加いただいた先生からの感想文を掲載する。

昨今、日本のグローバル化が進み、西宮の市中病院でも外国人の方を相手に診療を行うことがあります。その中でも英語を扱う方が多いと感じています。最近、スマートフォンなどでインターネットを介して翻訳を行うことができるため、簡単な会話ですらすぐに頼ってしまっているのが実情です。

この度は、このような英語セミナーに参加させていただき、実際の診療にそくした英会話を行うことで、より積極的なものに頼らない自分の英語で会話してみたいと思うことができました。

今回、半田先生の半田先生のもとで研修させていただいている折で、このような機会に巡り合えたことをうれしく思っております。学んだことを活かし、積極的に診療に活かしていきたいと考えております。

【明和病院 研修医 嶺尾 亮和】

世話人会だより

西宮・芦屋支部は7月26日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催。6人が参加した。

【報告】

- ① Medical English #53 (7・19)
- ② 第39回支部総会記念市民公開講演会(7・20)

【予定・企画】

- ① 第11回プライマリケア研究会(8・24)
- ② 第8回ファイアサイド・ディスカッション(8・31)
- ③ リスクマネジメント研究会(9・14)
- ④ 第19回胸部X・P読影会(9・20)
- ⑤ 阪神淡路大震災25年のつどい(2020・1・18)

【予定・企画(日時未確定)】

- ① 健康と医療について語り合う会

【協会・保団連行事】

- ① 第28回日常診療経験交流会・プレ企画(8・3)
- ② 第2回病診連携エッセンス交流会(9・7)
- ③ 第34回保団連医療研究フォーラム(巨大阪)(10・13~14)
- ④ 第28回日常診療経験交流会(10・27)

*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください

リスクマネジメント研究会 医療安全への二つのアプローチ Safety-I & Safety-II

日	時	9月14日(土)	午後3時~
会場	講師	西宮市立勤労会館3階・第8会議室	大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
司会	教授・部長・病院長補佐	中島 和江 先生	半田 伸夫 先生
	西宮市・半田医院 院長		